

学校だより



平成30年度 第11号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H30.5.30

5月の俳句 伸びゆける手足眩しき更衣

和田友季子

前号で体育祭の感想を紹介しましたが、1年生の感想では多くの生徒から、3年生のすばらしさを讃える言葉がありました。全員の感想を紹介できないのが残念ですが、行事の成功は生徒の心に大きな感動だけでなく、感謝の気持ちや来年への決意をもたらすのだと思います。また、勝負ごとでは、時にはエキサイトして相手への強い言葉がでたり、勝負にこだわりすぎてルールを守れないことがあります。今年は、そんな言動がまったくありませんでした。逆に、負けていても頑張っている団に声援を送ったりと、3年生を中心とするやさしい気持ちが随所に表れていました。本当にすばらしい体育祭をありがとうございました。全生徒と協力いただいた保護者の皆様に感謝いたします。

体育祭の感想を書いてもらいました 2年生

今年の体育祭は去年と比べてさらによかったと思いました。最初の準備でも、最後の片付けでも他の学年の人達や先生方と協力して心に残る体育祭になりました。私は、特に「背渡り上手」が印象に残りました。他にも「みんなでJump☆」はこの2年1組で全員が心を一つにできた競技だと思います。全17種目ともそれぞれの団が、勝利に向かって一生懸命にがんばっていました。私は来年やってみようと思っています。それは応援団員になって団長の先輩みたいにみんなをまとめていけるようになりたいと思いました。来年は私たちが後輩をまとめていくので、責任をもち、勝っても負けても楽しい最後の体育祭にしたいと思いました。3年生のみなさん、ありがとうございました。 2年1組 川井 望結

今年も昨年と変わらない赤団で係も変わらず“号令・審判”だった。係は昨年と同じだったのでよくできました。最初は青団のメンバーがすごく強そうだなと思いました。団員を中心に練習し本番をむかえました。障害走は昨年ビリだったので、今年こそはと思いいどみました。そしたら1位になれ、少しは赤団の役にたててうれしかったです。背渡り上手はいつも練習では3位だったので、本番1位になれてよかったです。赤団のモチベーションもあげることができてうれしかったです。応援合戦のダンスも最初は恥ずかしいと思いましたが、練習をしたので自信をもっておどれました。総合優勝は青団だったけれど、3年生は、結果よりも“楽しめたか”を求めているので、最高に楽しい体育祭になったのでよかったです。3年生を優勝させることができず悔しい気持ちもあったけれど、みんなで楽しかったと言合える最高の思い出となった体育祭ができてよかったです。 2年1組 永吉 颯

今年は頼れる先輩がいて、私たち2年生を頼ってくれる後輩がいて、先輩の姿や教えてもらったことから学ぶこと、後輩に教えることで学ぶこと、友達から学ぶことなど学ぶ機会の多い体育祭でした。そして素直におもしろい、楽しい体育祭でした。私は白団で、残念ながら優勝することはできませんでしたが、白団でかかげた「正々堂々戦い、愛を忘れない」という目標どおり、正々堂々、自分たちの力で仲間を信じて戦うことができました。そして解団式の時、今年の体育祭は白団のこのメンバーで赤団・青団と戦えてとてもよかった、白団の団員で本当によかったなと思うことができました。来年は私たちが中心になって体育祭を盛り上げることになるので、今年優勝できなかったことから学んだこと、先輩から学んだことを生かして、今年感じたように来年の1、2年生にもとても楽しかったと思ってもらえる体育祭を作りたいです。 2年2組 海老原明日美

僕たちの体育祭の目標は優勝と、楽しい体育祭にすることでした。結果は3位でした。とても悔しかったのですが、みんなが楽しいと言っていたので目標を達成できたのではないかと思います。僕が特に感動した種目があります。それは騎馬戦です。僕は上に乗っていて、相手と戦い体もボロボロですが、戦った後には、互いに「ありがとう、ナイスファイト！」などの声のかけ合いがありました。そこに僕は感動しました。このような体育祭が来年もできるように、今度は僕たちが3年生として、1、2年生を引っ張っていきたいと思います。 2年2組 篠原 仁

体育祭の感想を書いてもらいました 3年生

最後の体育祭だったのでいろいろとがんばった。特に応援団をがんばった。僕は応援団員としてダンスの振り付けや言う言葉を覚えるのが大変だったが、とても楽しかった。僕が種目に出ているとき、たくさん応援してもらえたので、僕もみんなをたくさん応援した。2年生もいろいろがんばってくれたのでよかった。体育祭のおかげでみんなの仲がさらに深まったような気がした。とても楽しい1日だった。

3年1組 伊澤 賢太

3年生、みんな最後の体育祭。まず、青団“優勝”おめでとう。赤団・白団・青団、みんな笑顔で競技していて仲間じゃないけど見ていて楽しい気持ちになりました。私たち赤団は最後の体育祭“優勝”という目標は達成できなくて悔しい気持ちだけど、なにより私は赤団で本当によかった。応援団員としていろいろときびしいことを言ったりしたけれど、この団員についてきてくれて本当にありがとうという気持ちでいっぱいです。ある意味、赤団は“優勝”ですね。

3年1組 田口 姫楽

白団は優勝できなかったけれど、自分たちで作った成功の課題は達成できたと思う。みんな、最後に点差がけっこうついていても、でもあきらめなかった。とてもすごいと思った。騎馬戦のときは、どちらも1つの差で負けたけれど、正々堂々と戦えたと思う。クラブチームのある人も途中から来てくれて、リレーは疲れたけれど頑張って走ってくれたと思う。勝ち取れなかったけれど、協力し合い、楽しんで体育祭ができたのでよかったと思う。

3年2組 伊澤 隼

優勝はできなかったけれど、白団の目標であった「正々堂々戦い、愛をわすれない」をしっかりと達成することができてよかったです。トライアスロンや玉入れ、大縄、応援合戦など新記録を出すことができて、白団が一つになることができて本当にうれしかったです。クラスが一つにまとまってきてよかったです。白団のみんなが応援団にしっかりついてくれたことで、白団がよりまとまったかなと思いました。中学校最後の体育祭、悔いもなく、後悔もなく、最後まで誰一人あきらめず楽しみ、笑顔で終わることができて、一生のいい思い出だったし、忘れられない日となりました。白団で本当によかったです。ありがとうございました。

3年2組 一木 彩那

体育祭、優勝できてよかったです。オープニングセレモニーのソーラン節では、練習時間が短い中でも、納得のいく演技になりました。トライアスロンでは、前日まで息があってなくて、僕たちのムカデが完成するか不安だったけれど、とてもよいものになりました。これからは、今年の体育祭で学んだことを生かしていい1年にしたいです。

3年3組 菅原 大輔

今日は、最後の体育祭を行って、青団の団結が深まったような気がしました。応援団員さんが私たちをまとめてくれたり、青団の誰かが競技にでていたらその人を応援したり、私が出るときに「がんばってね」や「応援してるよ」などと言われてとてもうれしかったし、力ができました。足が痛かったときも「大丈夫？」や「保健室に行きな」などと言ってくれて、がんばろうと思いました。最後の色別対抗リレーのときも、応援してくれてうれしかったです。体育祭は団結はもちろん、仲間との励まし合いも大切だと思いました。こんなに達成感のある体育祭ができてよかったです。また、青団が優勝できてよかったです。

3年3組 山本 雅



